

指導と評価の年間計画(地理歴史)〈例〉

岐阜県立〇〇〇〇高等学校

科目	地理総合	学年	〇年	指導クラス	〇年〇組	指導者名	〇〇 〇〇
単位数	2	使用教科書	〇〇〇〇〇〇 (〇〇社)		副教材・問題集等	〇〇〇〇〇〇 (〇〇社)	

1. 科目の目標

社会的現象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野で立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地理に関する諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関係を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国出に対する愛情、世界の諸地域や多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
地理に関する諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関係を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関する諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3. 指導及び評価計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動(指導内容)と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	A 地図や地理情報システムで捉える現代世界 (1) 地図や地理情報システムと現代世界	①方位や時差	2	・地球儀や地図を活用し、球面として捉える世界像と平面として捉える世界像では、方位や位置などの関係が異なる場合があることや時差が人々の生活や経済活動などに影響を与えていることなどを理解する。	・ワークシート ・グループ活動 ・ノート ・行動観察	○		
		②日本の位置と領域	2	・国境や領域をめぐる問題が人々の生活に及ぼす影響について、世界的視野から見た我が国の位置や領域、排他的経済水域の特色を理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。			○	
		③国内や国家間の結びつき	3	・国内や国家間の経済・政治・文化など様々な局面での結合について、地理情報や資料を活用し、国内や国家間の結びつきや変化を読み取ることを通じて、現代世界の地域構成を概観して理解する。			○	
	5		④地図やGISの役割	3	・地図やGISについて、情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 ・地図や地理情報の目的や用途、内容を理解し、それらの適切な活用する方法について多面的・多角的に考察し、表現する。	・レポート	○	
⑤現代世界の様々な地理情報			3	・貿易や観光、通商を題材として、地図や資料を基に世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどの変化を読み取り、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を設定し、主体的に追究しようとする。				○
6	B 国際理解と国際協力 (1) 生活文化の多様性と国際理解	①生活文化と地形との関わり	4	・世界各地の地形について、それぞれの特色を踏まえ、地形が人々の生活文化にどのような影響を与え、意味をもっているかを理解する。 ・生活文化の特色について、地形との関わりに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・ワークシート ・グループ活動 ・ノート ・行動観察	○		
		前期中間考査	1	・学習を振り返り、知識・技能を活用して考察、構想し、表現する。			○	○
		②生活文化と気候の関わり	4	・世界各地の気候について、それぞれの特色を踏まえ、気候が人々の生活文化にどのような影響を与え、意味をもっているかを理解する。 ・生活文化の特色について、気候との関わりに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。			○	
7		③まとめ	2	・世界の人々の生活文化と自然環境との関わりについて、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性を理解し、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする。	・レポート			○
		④生活文化と言語・宗教との関わり	4	・世界各地に見られる言語や宗教、歴史について、それぞれの特色を踏まえ、人々の生活文化にどのような影響を与え、意味をもっているかを理解する。 ・生活文化の特色について、言語や宗教との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。			○	

8 ・ 9	(1)生活文化の多様性と国際理解	⑤生活文化と歴史の関わり	4	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地の歴史について、それぞれの特色を踏まえ、人々の生活文化にどのような影響を与え、意味をもっているかを理解する。 生活文化の特色について、歴史的背景との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート グループ活動 ノート 行動観察 	○	○		
		⑥まとめ	2	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の生活文化と社会環境との関わりについて、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性を理解し、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 			○	
		前期期末考査	1	<ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返り、知識・技能を活用して考察、構想し、表現する。 		○	○		
10		⑦生活文化と産業の関わり	4	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地の農業や工業の発展、生産性と地域性について、それらが人々の生活文化に対して様々な役割を果たし、意味をもっていることを理解する。 世界各地の農業や工業の特色が生活文化に与える影響について、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート グループ活動 ノート 行動観察 	○		○	
		⑧生活文化の変容とグローバル化の関わり	2	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化が生活文化に与える影響について、その多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 			○		
		⑨まとめ	2	<ul style="list-style-type: none"> 産業の営みと生活文化の関わりについて、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性を理解し、自然環境や宗教、歴史などの特色を踏まえて、よりよい社会の実現を視野に、ここで見られる課題を設定し、主体的に追究しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 			○	
11 ・ 12	(2) 地球的課題と国際協力	①地球環境問題	2	<ul style="list-style-type: none"> 地球性課題について、各地で共通する傾向性や自然環境や社会環境、課題相互の関連性を大観し、課題解決を目指した各国の取組や国際協力の意義と必要性を理解する。 主題に対して、地域の結びつきや持続可能な社会づくり、課題間の関連性に着目して、地球環境問題における現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート グループ活動 ノート 行動観察 	○		○	
		②資源・エネルギー問題	2						
		③人口・食料問題	2						
④居住・都市問題	2								
⑤民族・難民問題	2								
後期中間考査	1	<ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返り、知識・技能を活用して考察、構想し、表現する。 		○	○				
⑥まとめ	2	<ul style="list-style-type: none"> 地球性課題について、自然環境や社会環境、課題相互の関連性に着目して、よりよい社会の実現を視野に、ここで見られる課題を設定し、解決の方向性について主体的に追究しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 			○			
1	C 持続可能な地域づくりと私たち (1) 自然環境と防災	①日本の自然環境	2	<ul style="list-style-type: none"> 世界的視野から見た我が国の自然環境の特色と地震や津波、風水害や火山災害などとの関係や、我が国の自然環境がこれらの自然災害と結びつきやすいことについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート グループ活動 ノート 行動観察 	○			
		②生活圏で見られる自然災害	2	<ul style="list-style-type: none"> どのような場所がどのような自然災害の影響を受けるかについて、自然災害の特徴や地域の自然環境の特色や人間活動と自然災害のかかわりを踏まえて、理解する。 		○			
		③地域と自然災害との関わり	2	<ul style="list-style-type: none"> 地域で想定される災害に対する対策について、ハザードマップや地研図等を活用し、地研や土地利用の変化に着目してその特色を見出し、自然環境の特色と土地利用や開発の歴史などを基に、想定される災害の種類や規模、頻度などを踏まえて、多面的・多角的に考察する。 			○		
		④まとめ	2	<ul style="list-style-type: none"> 自らが生活している地域の自然災害への備えなどについて、地図や統計資料を活用し、よりよい社会の実現を視野に、ここで見られる課題を設定し、主体的に追究しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 			○	
2 ・ 3	(2)生活圏の調査と地域の展望	①生活圏の調査	3	<ul style="list-style-type: none"> 生活圏における地理的課題に向けた取組について、地理的課題の解決に向けた取組や探究する手法などを理解し、調査して収集した知識や情報をまとめる活動を通して、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 主題に対して、生活圏の空間的結びつきや、地域の変容、持続可能な地域づくりに着目し、よりよい社会の実現を視野に、ここで見られる課題を設定し、解決の方向性について主体的に追究しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 中間発表 レポート プレゼンテーション資料 			○	
		②生活圏の地理的課題	2						○
		学年末考査	1		<ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返り、知識・技能を活用して考察、構想し、表現する。 		○	○	
授業時間 合計			70						